

鎖国下の対外関係.1

名前

解答

解答

- 問1 鎖国下の日本で、外国との窓口となったのはどこか。  
 ( 長崎、対馬藩(長崎県)、薩摩藩(鹿児島県)、松前藩(北海道) )
- 問2 鎖国下の日本では、オランダ、中国との貿易はどこで行われたか。 ( 長崎 )
- 問3 鎖国下の日本では、キリスト教の影響を防ぐために、何の輸入が禁止されたか。  
 ( ヨーロッパの書物 )
- 問4 幕府は、オランダに対し、ヨーロッパやアジアの情勢を文書で報告することを義務付けた。この文書を何というか。  
 ( オランダ風説書 )
- 問5 中国では、17世紀前半に、明が滅び、何という国ができたか。 ( 清 )
- 問6 オランダ人は、出島から出ることを許されていなかったが、キリスト教信者ではない中国人については、長崎の町で生活することが許されていた。しかし、密貿易を防ぐために、17世紀後半から中国人居住地区に住まわされた。この中国人居住地区を何というか。  
 ( 唐人屋敷 )
- 問7 文禄の役・慶長の役によって朝鮮との交流は途絶えていた。江戸幕府の成立後、朝鮮との国交を回復するために努力し、朝鮮との貿易を独占することを幕府に認められたのは何藩か。  
 ( 対馬藩 )
- 問8 朝鮮からは、主として将軍の代替わりなどに使節が派遣された。この使節を何というか。  
 ( 朝鮮通信使 )
- 問9 朝鮮との貿易で日本は何を輸入したか。 ( 生糸、絹織物、朝鮮にんじん等 )
- 問10 朝鮮との貿易で日本は何を輸出したか。 ( 銀、銅等 )
- 問11 1609年に、琉球王国は、どこの藩に征服されたか。 ( 薩摩藩 )
- 問12 将軍や琉球王国の国王に代替わりがあったときに琉球王国から送られた使節を何というか。  
 ( 琉球使節 )
- 問13 1604年、幕府はどこの藩にアイヌ民族との交易の独占を認めたか。 ( 松前藩 )
- 問14 17世紀後半に、アイヌの人々は問13の藩に対する戦いを起こした。このときのアイヌの指導者は誰か。  
 ( シャクシャイン )
- 問15 アイヌの人々が問13の藩に対する戦いを起こした理由は何か。  
 ( アイヌが不利になるような交易を行っていたから )

